

THE Y'S MEN'S CLUB OF AIZU  
会津ワイズメンズクラブ  
CHARTERED ON FEB. 1993



《 例会 》 毎月第2水曜日 19:00~21:00 若松栄町教会 (☎ 0242-27-3944)

2015~2016 年度主題

<No.253 会津通信>  
2016年5月11日発行

International President : Wichan Boonmapajorn (Thailand)  
"Mission with Faith" 「信念あるミッション」  
Asia Area President : Edward K. Wong (Singapore)  
"Through Love, Serve" 「愛をもって奉仕しよう」  
東日本区理事 渡辺 孝 (甲府) 主題 : 「原点に立って、未来へステップ」  
北東部部長 中川典幸 (仙台) 主題 : 「今と原点を融合して未来へ」  
会津クラブ会長 高橋京子 主題 : 「継続は力・手をつないで前へ」

会 長 高橋京子  
副会長 高橋眞美  
書 記 高橋真人  
会 計 高橋真人

◇5月の聖句◇

すると、席が整って用意のできた二階の広間を見せてくれるから、そこにわたしたちのために準備をしておきなさい。

マルコによる福音書 14章 15節

5月例会プログラム

日時 ; 2016年5月11日(水)19:00~  
会場 ; 若松栄町教会

司会 ; 高橋 真人メン

- |                                       |            |
|---------------------------------------|------------|
| 1. 開 会 点 鐘                            | 高橋京子会長     |
| 2. ワイズソング                             | 一 同        |
| 3. 会長あいさつ                             | 高橋京子会長     |
| 4. 連 絡・報 告                            |            |
| 5. 聖 句 朗 読                            |            |
| 6. 食前感謝                               |            |
| 7. 会 食                                |            |
| 8. 懇談                                 | 「中川部長を迎えて」 |
| 9. Happy Birthday! Happy Anniversary! |            |
|                                       | - あかべこ     |
| 10. 閉 会 点 鐘                           | 高橋京子会長     |

<4月例会出席状況>

在 籍 者 5名      ゲスト 0名  
出 席 者 5名      ネット 0名  
\*4月例会出席率 100%  
あ か べ こ      5,000円  
15-16年度合計      35,800円

3月例会の会員卓話の後半を掲載します。2月15日から19日までの5日間真珠の会主催のオキナワ平和ツアーに参加した高橋力ワイズの話です。  
(九条の会・会津若松会報よりの抜粋となります)

「虚ろな目と輝く目」

翌日、キャンプ・シュワブゲート前へ。機動隊の長蛇の列が見えた。対峙する市民が道を挟んで座り込んでいる。工事車両が近づくと阻止する動きが激しくなる。次のゲートへ。僕たちは、がっちりど微動だにしない機動隊の列をかすめて移動した。僕は車椅子から能面の様な彼らの顔を見上げて驚いた。いずれもが虚ろな目だった。直ぐ前から顔を見上げる僕にはピクリともしない。本土から派遣された膨大な隊員たちの宿舎は浜辺に聳える最高級ホテル。

用済みになったら米軍将校の娯楽施設になる目論見があるとか。このゲート前に連日配置され、無表情に並ぶ彼らに青春の喜びはないのだろうか。彼らの存在は抵抗者たちを排除するためにごぼう抜きにする時だけにある。頑強な体はそれだけに役立つ。その顔を見ながら先に見た輝く目を思い出していた。

海上行動でもゲート前でも、怒号の応酬だけではない一瞬の出来事でした。僕は想像するのです。ここから何かが始まるのではないか。虚ろ、輝き。

☆ 強い義務感を持つとう 義務はすべての権利に伴う。 ☆

違って見えた目が印象的です。生きる意味について改めて考えています。

凄まじい爆音も体験しました。沖縄の厳しい歩みにも触れました。四足歩行、車椅子で迷惑をかけるだろうと何回か参加を断念しようと躊躇した僕の感想は、「参加してよかった。僕を助けてくれたメンバーの皆さん。本当にありがとう」

## 今月の例会サブテーマ

**J E F** : 東日本区ワイズ基金は、クラブの記念行事、個人の冠婚葬祭などを記念しての献金となっています。この基金は、「アタミ基金」からさらに発展・充実させようと日本ワイズメン基金と名称を変更し「奉仕帳」を作り、記録されています。


**E F** : エンダウメント基金は、国際ワイズダム発展の為に国際レベルの基金です。金額は自由で US\$120 以上の寄付は「ゴールデンブック」に記載され、永久保存されます。国際協会では、強いワイズダムを目指すために、このファンドに力を注いでいます。



## 会津だより

◎計画策定に参画した人に聞きました

### みんなで公共交通を考えてほしい



**高橋 京子さん**  
(真宮新町)

私は、買い物やまちなかに出掛けるのにピカリン号を利用しています。今回、バスの利用者として住民グループインタビュー調査や地域公共交通フォーラムに参加し、日頃感じていることを話しました。公共交通は路線やダイヤも大事ですが、これからは、地域の観光資源と公共交通を組み合わせるなど、地域活性化の視点から公共交通を考えることも重要になってくると考えています。この計画が

高橋会長が「あいづわかまつ市政だより」5月号に掲載されました。地域公共交通網形成計画策定で路線バスを必要とする人や地域の皆さんの声を聴くなど、利用者や地域住民の目線を大切にされた策定で高橋会長は、買い物によく路線バスを利用しており、これが今回の記事になりました。健康で安心して暮らせる、活力あるまちづくりに貢献する公共交通を目指して、4つの基本目標を掲げ構築する策定です。

## 東日本区大会でのクラブ活動の報告

(笑顔が見たくて！)

2010年6月に設立したユニークダンスサークル「つばさ」は今年で6年目を迎えます。

会津クラブが生み出した唯一のサークルです。毎月の例会と施設訪問やサークル内の親睦を兼ねた活動で現在5名の練習生を交えてのユニークダンスを練習しています。


ワイズ以外は10名ですが、時折ワイズの活動の手伝いをお願いしたりしています。

これからも会津地域での活動をワイズが支えて継続していきます。(青山)



特養老ホームにて (2015.9)

## 会津藩の藩祖「保科正之」



徳川三代将軍・徳川家光の実弟。慶長16(1611)年、二代将軍・徳川秀忠と乳母の侍女だったお静の間に生まれます。当時は大奥の秩序を守るために、正室側室以外を生みの母に持つ子供は、養子に出すのが通例でした。元和3(1617)年、正之は高遠藩主・保科正光の養子となり、その後継者として育てられ、寛永8(1631)年、亡くなった正光の跡を継いで、高遠藩3万石の藩主となります(以下次号)

### ◇ 今後の予定 ◇

#### ◆6月例会(評価)

6月8日(水)午後7時より  
「一年を語ろう」

#### ◆ユニークダンス例会(定期総会)

6月15日(水)午後6時30分より  
場所:未定



